

あきく

NO.101
2015.3.28

社会福祉法人 広島市安芸区社会福祉協議会
安芸区船越南三丁目2-16 (安芸区総合福祉センター3階)
TEL (082) 821-2501 FAX (082) 821-2504
ホームページ: <http://shakyo-hiroshima.jp/aki>
メール: aki@shakyohiroshima-city.or.jp

この広報紙は一部共同募金の
配分金で発行されています。

みんなの福祉

住み慣れた地域で暮らしていくために!

安芸区社会福祉協議会では、3月12日に地域の地区社協及び民児協などの福祉関係者が一堂に会し、これから変わっていく医療や介護、地域のあり方について学ぶ研修会を開催しました。

研修会では、「これから変わる高齢者ケア」と題し、広島県地域包括ケアネットワーク会議副会長で はたのリハビリ整形外科 院長の畑野榮治先生に講演していただきました。



研修の様子



講演中の畑野先生

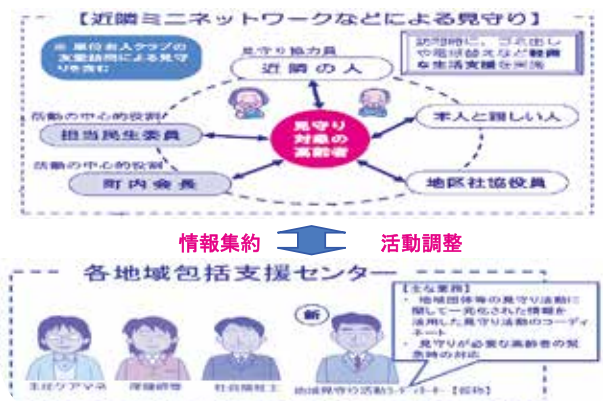
講演の中で、「少子高齢化が急速に進む中、介護サービスの提供にも限界があり、これからは、住み慣れた地域の中での助け合いが重要度を増している。施設入所者の多くは、介護サービスを利用しながらも、住み慣れた自宅（地域）で暮らしたいと思われている方が多い」と話されました。

つづいて、安芸区役所健康長寿課からは、地域の助け合いの輪を広げるべく平成27年度から地域包括支援センターと地域とが主体となって進めていく「広島市高齢者地域支え合いモデル事業」について説明があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

なお、このモデル事業については、畑賀地区社協が瀬野川・船越地域包括支援センターと事務局を担い「畑賀ふれあいネットワーク」として先行してスタートします。(次面参照)

また、平成27年度以降、他の地域においても、行政・包括支援センター・地域等が協議を重ね拡充が図られることとなります。

高齢者地域支え合いモデル事業



高齢者地域支え合いモデル事業イメージ図

畑賀ふれあいネットワークがスタートします!!

畑賀地区では、災害の際に自力で避難することが困難な方を対象に避難支援の協力者を募り、いざという時に対応する災害時要援護者支援事業にいち早く取り組んでいます。さらに今回、1面で紹介の広島市の高齢者地域支え合いモデル事業を受ける形で、先行して2月14日に災害時のみでなく平常時まで範囲を拡大し、見守りを行っていく畑賀ふれあいネットワークが設立されました。



趣意書・説明資料



「どんな見守りが必要か」

この事業は、畑賀地区社会福祉協議会が瀬野川・船越地域包括支援センターと一緒に事務局を担い、要援護者の同意・登録のもと、支援・見守りの協力員を配置し、声かけや災害時の避難協力、要援護者を町内会ごとに要援護

者マップを作成及び更新などをすすめるものです。

畑賀地区社協の中島会長は、「この事業の推進が地域の安全・安心につながり、将来にわたり住み続けてよかったと思える畑賀地区をつくりたい」との思いを語っておられます。



左から 区長・厚生部長・中島会長

今年も盛況! 瀬野福祉センターまつり

瀬野福祉センターでは、3月1日に瀬野学区社会福祉協議会、コミュニティ交流協議会、福祉センター利用の学習グループの共同により、今年で18回目の瀬野福祉センターまつりが開催されました。

ホールでの芸能発表やうどん・むすびなどの軽食コーナー、自主製品や遊休品の販売コーナーなどが開催され、あいにくの雨も何のその、たくさんの方が来場され盛況でした。



まつりの様子



「スタッフも頑張っています!」

一人の『やさしさ』が地域を変える!!

子どもも大人も・・・安芸区民の福祉学習を、社会福祉協議会が応援します！

やさしさ発見プログラムとは、今日の少子高齢化、家族機能の低下、社会制度の変化などにより福祉ニーズが多様化する中、多くの方が福祉を学び、「体験！発見！！ほっとけん!!!」をスローガンとした、福祉活動体験プログラムを通じ、一人ひとりの「生きる力」や「福祉の心」を育む生涯学習です。

対象：学校、地域（自治会など）、企業、団体等

費用：実施に伴う、講師謝金、学習協力者交通費、車いす等機材運搬費などについては、社会福祉協議会が負担します。



視覚障がい者への理解

2/16
月

船越小学校3年生、
点字サークルぴあらいと

～視覚障がい者の上泉さんから日常での困りごとのお話を聞いたよ。

視覚障がい者にとって点字が耳の代わりになるんだね。

でも、点字だけで視覚障がい者のバリアーはすべて解消されるのかな？



点字を打ってみよう



視覚障がい者への理解

1/16
金

矢野南小学校3年生、
ハーネスの会（盲導犬ユーザー清水さん）

～盲導犬ユーザーの清水さんからルーラちゃんとの生活についてお話を聞いたよ。

盲導犬って本当に賢いんだね。

でも、清水さんはルーラちゃんより小学生に案内された方が生活しやすいそうよ。



盲導犬との歩行



聴覚障がい者への理解

2/17
火

みどり坂小学校2年生、
手話サークルあゆみ（昼の部）

～難聴者の岸良さんにたくさん質問したよ。

台風でJRが遅れた時にアナウンスが聞こえず困ったけど、手話ができる人が近くについて助かったそうよ。

自分の名前の手話も、講師の人におしえてもらった。これで自己紹介はできるわ。



手話で自己紹介



聴覚障がい者への理解

9/19
金

矢野南小学校、
要約筆記サークルおりづる

～この中に耳が聞こえない人は何人いるでしょう？

唐突な質問にびっくり！

目で見てもわからない人をどうやって見分けたらいいんだろう？



要約筆記の説明



車いすユーザーへの理解

1/22
木

船越小学校4年生、
きっかけづくりの会（奥田さん）
～車いすユーザーのお話と車いすの扱い方について学んだよ。

車いすって少しの段差でも登れないものなんだね。階段を下りるなんてとてもじゃないけど無理だね。



車いす介助の体験

その他のプログラム

- ①高齢者の理解、②認知症の理解、③知的障がい者への理解、④CAP（キャップ）子どもへの暴力防止、⑤貧困問題 など

申請方法

広島市安芸区社会福祉協議会へご連絡ください。

・担当者が、プログラム作成についてアドバイスします。詳しくは広島市社会福祉協議会のホームページ（<http://shakyo-hiroshima.jp>）へ

ボランティアさんへインタビュー

地域で買い物に行けず困っている方へのボランティア活動をしている、藤井眞佐子さんにお話を伺いました。

Q1. ボランティアを始めたキッカケは？

町内会の役員さんから誘われて、「第12回安芸区ボランティア大学（ボラ大）」を受講したことです。

Q2. ボランティアに対するイメージは？

ボラ大を受講する前は、漠然と自分にできることは何かないかな？と思っていました。

受講してみて、いろいろなボランティアの説明を聞き、受講生同士でボランティアについて話し合うことで、自分にもできることがあるとイメージすることができました。



ボラ大の様子

Q3. 生活面での変化はありましたか？

Nさん（当事者）と知り合うことができました。

ニュースや新聞といった情報だけではわからないことも、実際に活動してみることで高齢者の生活が大変であることがよくわかりました。

Q4. ずばり、ボランティア活動は楽しいですか？

Nさんの昔の話を聞かせていただいたり、「あなただけになら話せる」といった信頼の証

ともとれるような言葉をいただいたときは、大変うれしいです。

Q5. 難しいところはなんですか？

個人宅にお邪魔することになるので、最初は不安でした。ですが、時間帯や緊急時の対応なども事前に詳しく教えていただけて、安心して活動できました。

これからボランティア活動をされる安芸区の方々へ、一言お願いします。

何かボランティアをしたいと思っておられる方は、たくさんいらっしやると思います。

私もその一人でしたから・・・。

ボランティアはキッカケがないと、なかなか始めることができません。

この記事がキッカケだと思い、安芸区社会福祉協議会に相談してみるのも良いと思います。

藤井さん、ありがとうございました。

最後には、安芸区社会福祉協議会のPRまでしていただきました。

安芸区社会福祉協議会では、福祉制度につながらない地域の困りごと（買物支援やゴミだし）に対応するボランティアさんを探しています。

赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました

今年度も10月1日から12月31日まで、全国統一スローガン「じぶんの町を良くするしくみ」として共同募金運動が展開されました。

安芸区分会

目標額 6,810,000円

実績額 5,966,912円

※平成27年2月28日現在

赤い羽根共同募金は、主に地域福祉活動(地区ボランティアバンク・ふれあいいきいきサロンづくり・小地域見守り活動)の取り組みに活用させていただいています。住民どうしが「幸せ」と「豊かさ」を実感し、暮らしやすい‘まちづくり’のため、ご協力をお願いします。

ご寄附ありがとうございました

皆様からお寄せいただきましたご寄附は、安芸区内の地域福祉活動の推進に有効に活用させていただきます。

【平成26年7月1日～平成27年3月15日】

- 社会福祉法人 慈楽福祉会 様
- カワダ労働組合 様
- 広島文化学園大学 様
- 随泉寺仏教婦人会 様
- 畑野 榮治 様



カワダ労働組合様より